

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、
試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承
いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 骨髄異形成症候群(MDS)における同種造血細胞移植の予後予測モデルの構築

【研究の概要】

研究の目的

骨髄異形成症候群(MDS)は、腫瘍・血液内科で診療される疾患の一つです。MDSは骨髄中の造血幹細胞に異常が起き、正常な血液細胞が造られなくなる病気です。MDSは病状に応じて化学療法(抗がん薬治療などを指します)による治療が必要となりますが、化学療法での根治は見込めず、唯一の根治療法は同種造血細胞移植¹です。しかしながら、MDSの同種造血細胞移植をどのような時期に、どのような形で行うのが一番良いか、はっきりしたことが分かっていません。本研究では、MDSに対して同種造血細胞を実施した方を対象として、移植前に行った治療内容や検査の結果、使ったお薬などの詳しい情報(これを移植レジメンと言います)を収集・解析し、予後予測モデル²を構築することを目的としています。

- 1 同種造血細胞移植とは、遺伝的に同一でないドナーからの患者さんへの造血幹細胞の移植のこと
- 2 どのような状況の患者さんがどのような治療効果を得たのか、生存されているのか、病気は再発しているのかという最終状態を予測できるモデルのこと

研究期間

承認日～2025年12月31日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

研究機関： 附属病院 葛飾医療センター 第三病院 柏病院

対象となる方：上記研究機関で、2011年1月から2020年7月までに、同種造血幹細胞移植治療を受けた骨髄異形成症候群(MDS)の16歳以上の方

研究に利用する試料、情報等

試料：用いる試料はありません

情報：患者さんの基本情報(年齢や性別、飲み薬の種類、認知機能、食事量や体重変化など)、
全身状態、病期(ステージ)、病気の進行速度や予想、治療歴、
血液検査の結果、あれば遺伝子の解析結果、移植レジメン、ドナーの有無、その適合率

他の機関(検査会社等含む)へ試料や情報等を提供する方法

この研究は、多施設共同で実施されます。研究代表は神奈川県立がんセンターであり、同院に匿名化(個人を特定できないように処理)された形で上記情報を提供(追跡可能な方法で郵送)します。

【問い合わせ先(対応時間：午前9時～午後5時/休診日を除く)】

東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科学講座

研究代表者：横山 洋紀(よこやま ひろき) 電話：03-3433-1111(内線：3251)

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。